

令和 8 年度指導教諭の紹介

<p>教科（科目）</p> <p>家庭（被服）</p> <p>名前</p> <p>（ふりがな）</p> <p>小野由紀子 （おの ゆきこ）</p> <p>勤務校</p> <p>（問い合わせ先）</p> <p>大分県立 日田三隈高等学校 住所：〒877-0000 日田市友田 1546-1 TEL：0973-23-3130 FAX：0973-23-3131</p> <p>授業公開の日程</p> <p>1年：家庭基礎 総合学科 水曜 13:15～14:05</p> <p>2年：ファッションデ ザイン 総合学科 金曜 10:40～12:30</p>	<p>1 授業の特徴</p> <p>共通教科「家庭基礎」の授業開きの最初のメッセージは、「私はあなたたちを幸せにしたい。」です。人生 100 年のうち、職業生活に使う時間は実は 10% くらいではないでしょうか。個人として、あるいは家族の一員として生きている時間の方が遙かに長いと思われます。「進路達成」は高校教育の最大のミッションですが、それは、幸福生活の一部につながるものです。「自分の力で、あるいは誰かと力をあわせて、暮らしをつくっていくことを楽しめる。」そういう人づくりが家庭科のミッションだと考えています。</p> <p>「私があなたたちを直接幸せにすることはできない、自分で自分を幸せにするための種まきが家庭科の授業です。」と、授業では生徒に伝えています。生き方・暮らし方にただ一つの正解はありません。しかし、家庭生活に必要な基礎的な知識と技術を持つことが、自分と周囲の人を幸せにすることは間違いありません。家庭生活における基礎・基本を大切にしたいうえで、生徒が互いの知恵や経験を交流できる授業づくりを心がけています。</p> <p>2 教科指導に関して情報提供や協議が可能な事項</p> <ul style="list-style-type: none">・調理実習・被服実習における指導と評価の工夫・教材・教具・指導方法などの共有化 <p>3 研修講演等が可能なテーマ</p> <ul style="list-style-type: none">・生徒の個に応じた教科指導の在り方・協働的な学びの実践例 <p>4 活動実績</p> <p>H29～R7 年度は高教研家庭部会の教科指導力向上研究会のメンバーとして、地区研究のサポートをしました。</p> <p>R4 年度はキャリア教育指導者養成研修に参加しました。</p> <p>5 自己紹介、プロフィールなど</p> <p>ただ楽しく「生徒と一緒に家庭科をしてきた」ら 38 年たち、様々な学科の現場を経験させていただきました。生徒がヒーローになる授業を目指しています。</p> <p>6 学校紹介</p> <p>学校キャッチフレーズは「未来の自分にワクワク、わたしは三隈高校で生き方をデザインする！」</p> <p>7 学校や関係 HP のリンクなどアドレス</p> <p>https://kou.oita-ed.jp/hitamikuma/</p>
---	--